

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十九年三月度 入選句（投稿総数二九三八句・一般投句数五六三句）

選者 伊藤 百雲

特選

春光の美濃みはるかす古墳跡 大垣市 中西 映衣子

句の「中七」にある「みはるかす」を漢字で書けば「見晴るかす」である。遠く見はらす、はるか  
に見渡す、の古語であることは周知の通りで、うまく中七に入れて句をまとめ「上五」を活かし  
た点が良い。  
「古墳跡」で附近の状況が解る。

里山の明るき日差梅の花 大垣市 鶴田 信子

説明ばい句の感があり残念だが温かい日差しを待っている山里の人々の情を思わせ梅の花を  
下五の句に入れて明るさを出したところを心して佳句とした。  
参考芭蕉の句を書きおく  
「山里は万才おそし梅の花」

これはまあしぶとく残る雪だるま 三重県鈴鹿市 松井 政典

俳諧味あつて佳句とした。「しぶとく残る」が面白い。人間のしぶとく生きるに通ずるものあつ  
て尚々、面白さ湧く。

秀逸

春潮の波畳みくる舟屋かな	愛知県名古屋市	舘野 茂子
町青し今年も一つ種を蒔く	揖斐郡池田町	河村 直人
つりびなの日差しに揺れる城下町	大垣市	中山 あや子
春ともし小さく円き詩人の書	岐阜市	島 めぐみ
藁膳の苦味ほどよく露の臺	大垣市	坪井 克枝
啓蟄や家の四方の清め塩	大垣市	傍島 隆
運氣よし三本締め春の宴	大垣市	久保田 悟義
氷柱のふいに光にかはりけり	不破郡垂井町	竹嶋 富美子
藻の揺れて音も光も春の水	揖斐郡揖斐川町	栗野 みねお
早春の譜を奏でたる水ぐるま	三重県四日市市	後藤 允孝

入選

やうやくに外す補助輪春立つ日	養老郡養老町	田中	紫香
残り鴨一羽羽博ちの陣くづれ	大垣市	三輪	千芽
春浅し夜半のシャンソン聞きをりぬ	安八郡神戸町	清水	勝子
日のぬくみ掴みて切干し大根かな	大垣市	末森	節子
露のとう手放す土地にありにけり	大垣市	山田	千歌子
結願の杖休ませる涅槃西風	大垣市	臼井	秀子
啓蟄や届くパンフの旅だより	大垣市	尾関	逸子
思ひきり春泥はねてバスの旅	大垣市	岡田	あや子
梅の香や自噴井の水ほとぼしる	愛知県名古屋市	渡辺	かずゑ
撫で牛の光る鼻先桃の花	大垣市	新町	恵子

入選

天神の絵馬の風音梅ふふむ	大垣市	澤井	国造
勇みたる大漁旗や春の雪	愛知県豊田市	城山	憲三
春隣下見の部屋に母の声	広島県東広島市	宮谷	野良古
空晴れて椿の紅が家に添ふ	栃木県那須塩原市	久保田	山蛾
春ぼこり大仏の鼻ふくれをり	愛知県大府市	西脇	晋哉
背もたれを少し傾け梅の空	神奈川県川崎市	佐藤	廣枝
どら焼きに宮司の揮毫冬ぬくし	大垣市	鈴木	美江子
寒明けのブラックコーヒーいや旨き	愛知県名古屋市	岩田	遊泉
鬼は外小声で嫁にそっと投げ	大阪府羽曳野市	廣石	まさやん
にじり口見上ぐる先の白牡丹	兵庫県尼崎市	佐々木	啓川

選者吟

東の間の潮の香りや梅が紅

百雲